

1253 特定課題研究 B (専任教員)

◆履修年次	2年次	◆開講期	春1期-秋3期
◆履修要件	(1) 「特定課題研究 A」の単位を取得していること。		
◆目的・概要	<p>原則として、特定課題研究 A の指導教員が引き続き本科目を指導する。特定課題研究 B では、1) 専門スキルの修得、2) 探究実践力の修得、3) 人間力の向上、等を目指す。</p> <p>(1) 探究実践力の修得 探究実践フレームワークを活用し、自ら学んだ知識・スキルをもとに研究システムの設計および開発を具体的に推進する。最終的には、修士論文としてまとめ、その成果を発表する。</p> <p>(2) 専門スキルの修得 学生個々のレベルに応じた指導を少人数の演習形式で実施することにより、一方通行になりがちな授業を補完すると共に、研究を遂行する上で必要となる専門スキルの修得を目指す。</p> <p>(3) 人間力の向上 特定課題研究 A に引き続き、学力のみならず、社会人として必要なコミュニケーション力や一般常識（言葉遣い、プレゼンテーション、文章作成等）の向上を目指す。</p>		
◆学習目標	<p>(1) 社会や地域などにおける課題を発見し、IT を駆使した解決方法を実現できる。</p> <p>(2) その解決方法を実現する上で必要となる専門スキルを修得する。</p> <p>(3) 特定課題研究 A に引き続き、社会人として必要となる人間力を向上させる。</p>		

◆本学の教育目標と科目の学習目標(到達目標)との対応

教育目標		学習目標
基礎的素養		
専門知識および業務応用力		(1), (2)
自ら強みを磨き続ける力		(1), (3)
自ら社会における課題を発見し、解決する力	課題設定	(1)
	仮説立案	(1)
	仮説検証	(1)
	実行	(1)
社会人基礎力	前に踏出す力	(1), (3)
	考え抜く力	(1), (3)
	チームで働く力	(3)
職業倫理の修得		(2)

◆評価方法と配点

学習目標	達成度評価方法と配点						
	期末試験	小テスト	レポート	発表 (発表会)	成果物 (修士論文)	取組 姿勢	その他 (課外活動等)
(1)				○	○	○	
(2)				○	○	○	○
(3)				○	○	○	○
配点				30	30	30	10

1253 Specific Theme Study B (faculty)

◆指導方法	指導教員により、週に1回以上、対面形式またはグループワーク形式で研究活動を行う。 ※ 指導開催日時は、研究室により異なる
◆備考	特定課題研究 B の成績評価は、全ての発表会（研究計画発表会、中間審査発表会、修了発表会）への参加を条件とし、修了判定会議にて、全専任教員が審議の上、決定する。

◆修了発表会

(1) 目的

特定課題研究 B では、社会における課題を発見し、IT を駆使した解決方法を修士論文として纏める。これらの成果を発表する場として「修了発表会」を開催する。

(2) 実施方法

- 1) 修士論文および内容梗概は、発表1週間前までに提出する。なお、発表資料は、提出不要。
- 2) 発表資料は、以下の内容を参考に作成する。
 - ・研究背景と課題
 - ・IT を駆使した解決方法の紹介
 - ・解決方法の評価（実証実験）と考察

(3) 実施時期（予定）

発表は、2月後半に実施する。詳細は、別途連絡する。

(4) 資料公開等

修了発表会を実施するにあたり、Moodle にて周知連絡、資料公開する。

◆参考：2018年度実施スケジュール(実績)

2018年5月19日（土）	研究計画発表会資料の提出	Moodle にて提出
2018年5月26日（土）	研究計画発表会	14分（発表9分+質疑応答5分）/1人
2018年12月1日（土）	中間審査発表会資料の提出	Moodle にて提出
2018年12月8日（土）	中間審査発表会	19分（発表10分+指導9分）/1人
2019年1月12日（土）	論文タイトル提出	以降、タイトルの変更は原則として不可
2019年1月21日（月）	各学生の副査決定	研究科ミーティングにて審議・決定する
2019年1月26日（土）	査読用論文提出	副査が査読し、学生に指導する
2019年2月9日（土）	最終版論文提出	修正した論文（紙/データ）を提出する
2019年2月16、17日（土・日）	修了発表会	17分（発表12分+質疑応答5分）/1人
2019年2月25日（月）	修了判定会議（専任教員）	全専任教員が審議の上、成績を評価する

※2019年度のスケジュールについては、前年度から変更になる場合があります。